

## 乳癌のルミナルサブタイプと生物学的特性に関するケースコントロール研究

※本研究は琉球大学・那覇西クリニックの人を対象とする生命科学・医学系研究倫理審査委員会の承認および研究機関の長の許可を得ています。個人情報の取り扱いに十分配慮した上で、本研究は実行されます。

### 1. 研究の対象

1996年1月～2028年12月までに琉球大学病院および那覇西クリニックで乳がんの検査や治療を受けた方です。

### 2. 研究目的・方法

本研究は乳癌の治療に対する反応性が異なる背景にどのような細胞内環境があるのか明らかにするものです。現在の乳癌の治療は手術を主体として、ホルモン受容体を示す乳癌には抗ホルモン療法、増殖因子受容体を示す乳癌にはその受容体を標的とした治療を行います。これらの治療は乳癌の予後の改善に寄与しましたが、一部の乳癌症例では治療への反応性が乏しく、そのメカニズムの解明が喫緊の課題となっています。

研究の方法は病理組織学検査で診断が終了し、琉球大学病院および那覇西クリニックに保管されている標本を用います。従って本研究では研究対象の方に新たに処置が加わる事は一切ありません。

この標本を用いて組織像の違いや乳癌細胞内でどのようなシグナルが活性化あるいは不活性化するのか検討し、さらにカルテ等の医療記録を調べ、その関連を考証します。

なお、研究の実行は臨床研究教育レクチャーを受講し、倫理的配慮を有した研究者により個人情報の取り扱いに十分配慮した上で実施されます。

総研究期間は研究機関の長の許可日から2029年3月31日までです。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：生年月、合併症、過去の手術歴、現在の内服薬、喫煙歴、臨床検査のデータ等、診断名、内因的サブタイプ、Stage、TNM分類、病理組織型、Grade、手術内容、化学療法の内容(薬剤、投与量、投与期間)、治療の効果、予後

試料：手術で摘出した組織

#### 4. 外部への試料・情報の提供および二次利用について

那覇西クリニックから琉球大学へ試料・情報が提供されますが、その際に個人が特定されないよう匿名化された状態で渡されます。また、本研究の試料・情報は、他の研究に二次利用する可能性があります。その場合は、再度、倫理委員会へ申請し研究機関お蝶の許可を得ます。

#### 5. 研究組織

那覇西クリニック 研究責任者：院長 鎌田 義彦

琉球大学医学部保健学科形態病理学分野 研究代表者：金城貴夫

#### 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、データ解析完了後や学会・論文発表後に、参加拒否のお申し出をなされた場合は対応し兼ねる事がございます。予めご了承ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

琉球大学医学部保健学科技術支援室 田邊恭佳

〒901-2720 沖縄県宜野湾市喜友名 1076 番地

Tel： 098-894-1301 (内線 5358, 5359)

那覇西クリニック 鎌田義彦

〒901-0154 沖縄県那覇市赤嶺 2 丁目 1 番地の 9

TEL, 098-858-5557

FAX, 098-858-5552

研究責任者：

琉球大学医学部保健学科形態病理学分野 金城貴夫

〒901-2720 沖縄県宜野湾市喜友名 1076 番地

Tel: 098-894-5419

Mail: [kinjotko@cs.u-ryukyu.ac.jp](mailto:kinjotko@cs.u-ryukyu.ac.jp)

共同研究機関:

那覇西クリニック 鎌田 義彦

---

以上